

古高松地区 ふるさと探検マップ



No	名称	所在地 および 古事由来の概要
1	神櫛王墓	所在＝高松町、王墓自治会の隣の牟礼町側にある。 景行天皇の王子、神櫛王が讃岐安定の功により国造「ケニミヤコ」として着任した。死後、同地に墓を造ったが、荒れるに任せていた。明治3年9月、藩主松平頼聡氏が大修復を行ない、現在に至る。
2	妙覚寺	所在＝高松町2038番地(津ノ村) 宗派は真言大谷派。本尊は阿弥陀如来。当寺は永禄年間(1558～1569年)に沙門教立が親鸞聖人「シラシウニン」の御親筆を守って創建したと伝えられている。
3	赤牛橋	所在＝高松町、赤牛崎「アバサキ」近くの相引川に掛かる橋 源平合戦当時(1185年)、屋島は島であった。海峡の幅の最も狭いところ(約200m)であり、相い引の浜と呼ばれ、干潮時は馬で渡れた。
4	高松町交番	所在＝高松町2478番地7 『みんなでつくろう安心の街を』『ここは地域の安全センター』を合言葉に、市民の平和な暮らしを願って活動している。
5	義経鞍掛の松 鞍掛地蔵	所在＝高松町2502番地1 源平合戦の昔、源義経が鞍をこの松にかけて、人馬(兵士、軍馬)を休養させたと伝えられている。なお、牟礼町の雨竜ヶ丘が本陣であった。
6	古高松 コミュニティセンター 古高松出張所	所在＝高松町10番地20 コミュニティセンターは地域内の活動の拠点として平成18年8月に今の場所に新築移転された。各種生涯学習・行事の場となり、図書スペースなどもあり、開かれたコミセンづくりを目指している。また、出張所は高松市役所の出先機関で、古高松地区を総括する重要なサービス・ポイント機能を果たす行政機関である。
7	高松東消防署	所在＝高松町91番地6-7 昭和38年消防隊の設置、昭和55年に隊が発展改称して高松東消防署となる。市民の生命、身体、財産を守る防火活動を行なっている。
8	忠魂社	忠魂社は、西南の役以後の地元出身者の英霊を祀っている。平成5年、この5年、この社を守る人達で戦争を語り継ぐ「平和の礎」が刊行された。
9	JR屋島駅	所在＝高松町88番地2 高松・徳島を結ぶ高德線の重要な駅として人々に利用されてきたが、現在観光客は減少している。
10	高松城 (喜岡城)跡	所在＝高松町(永の谷) 現在の喜岡寺境内を本丸とした、約240m四方角の環濠屋敷のある平城で、建武2年(1335年)讃岐の守護に命ぜられた舟木頼重が築城。ここの地名を姓として高松頼重と称し、約250年間同氏の居城であった。 天正13年(1585年)頼邑の時、豊臣秀吉の大軍と戦って敗れ、兵と共に落城、その後廃墟となった。
11	喜岡寺	所在＝高松町1727番地5(永の谷) 宗派は真言宗御室派。本尊は不動明王。当寺は寛喜元年(1229年)僧覚行が開基、常光寺と称したが焼失、この寺の西側に喜岡城跡があり、文禄3年(1592年)古高松地区の旦那衆が常光寺の復活を願って堂宇が完成、喜岡寺と称した。

12	宝太郎坊大権現	所在＝高松町1560番地(白井) 宗派は真言宗当山派。本尊は宝太郎坊。不動名王・虚空蔵菩薩・八大竜王が祀られている。土地の山法師大助が身延山から宝太郎坊を勧請、宝を生む仏、敬愛増益の化身とされ敬崇されてきた。
13	古高松三角点	所在＝高松町(地部谷) 菱の池の西堤防上 屋根下に二体の石仏があり、その北側に四角の石柱が埋められている。それが三角点である。三角点は建設省国土地理院の管轄地点であり、水準点と共に地図作成のための重要なポイントである。
14	延命寺	所在＝高松町1213番地(地部谷) 宗派は真言宗御室派。本尊は薬師如来。創建は古く万寿2年(1025年)であったが、衰廃を繰り返した末、元禄14年、屋島寺の竜宝が初願で再興された。
15	木内龍山碑	所在＝高松町398番地 古高松小学校 校庭の西北隅にある石碑 江戸幕末時代、勤皇の志士で円座町の小橋家に生まれ、長じて高松町帰来の木内家の養子となる。『龍山漫録』や『撃攘録』を刊行、その他著作も多い。また、自ら私塾を経営し、やがて官制の小学校へと発展した。(古高松小学校)
16	長尾1号墳	所在＝高松町1126番地(長尾)笠井幸雄氏宅の裏山 盛土古墳で、墳丘の長さ13.8m、高さ2.4m、横穴式石室で羨道は欠け玄室の入口で開口、玄室の奥行き3m、幅24m、高さ1.8mであるが、古くから開口のためか遺物類はなし。
17	金刀比羅神社岡山小古墳群	所在＝新田町乙5番地2 祭神は大物主命。本殿は流れ造り銅板葺。拝殿は入り母屋造り瓦葺。この金刀比羅神社を岡山神社ともいう。また、社の西南の山中に15基の小さい古墳があり、これは古墳時代の最後のものといわれている。
18	国立療養所高松病院	所在＝新田町乙2番地8 昭和22年4月発足、年中気候温和で療養に最適の丘陵性の環境である。
19	久本神社	所在＝新田町乙16番地(久本) 祭神は菅原道真。別名、久本天神社(久本天満宮)、応和年中(961～963年)に讃岐守紀夏井の孫、久本久実らが創建した石文が建っている。また、拝殿には古来奉掲額がある。例「雨だれのほかに音なし春の雨」(其月)
20	久本古墳	所在＝新田町甲2009番地 古墳時代後期(6～7世紀)に築いた横穴式石室古墳で、巨石を用いて部屋が造られている。玄室の奥には石棚があり、昔は陶棺が安置されていた。
21	高松市茶臼山古墳	所在＝新田町の南端、茶臼山の山頂、標高50mに位置する。 4世紀頃に築かれた大豪族の墓である。全長66mの前方後円墳で、被葬者は大和朝廷から来た支配者であった。高松市の史跡に指定されている。
22	正蓮寺	所在＝新田町甲2440番地 宗派は真宗興正派。本尊は阿弥陀如来。昔、現在地の北に正行庵があって、享和年間(1801～1803)に今の地に移す。明治12年、正蓮寺と改名。

23	新川南橋	所在＝春日町と新田町の境を流れる二級河川、河口から2つめの橋である。 通称、学校橋とも呼ばれている。また、この橋は交通の要所であり、交通難所でもある。 新川は、途中で吉田川を合わせ、最後に春日川と合流し瀬戸内海にそそぐ。
24	高松大学高松短期大学	所在＝春日町960番地 昭和44年4月、単科大学(児童教育科)を開学。その後、音楽科・秘書科を設置、さらに平成7年には大学(経営学部産業経営学科)を設置、確実に発展している。
25	古高松南コミュニティセンター	所在＝春日町782番地2 春日町・新田町の文化活動の拠点として重要な機能を果たしている。
26	春日神社	所在＝春日町736番地(宮ノ原) 祭神は天津児屋根命他。創建は天平年中に久宋寺をまず建立し、その伽藍の鎮守として神社を設けた。 後、今の地に移しこの地区の産土神「ウブズナカミ」として尊崇され栄えてきた。
27	常照寺	所在＝春日町485番地(宮ノ原) 宗派は真言興正派。本尊は阿弥陀如来。明治時代、信仰道場として最正庵を開き、昭和24年住職山地政行氏が常照寺と改称した。
28	仁木徳萬顕彰碑	所在＝春日町308番地2 仁木小左衛門(永正10年(1515)～天正2年(1574))は徳萬さんと呼ばれ、父作十郎から春日惣の名主を継ぎ、生涯を古里の開発に尽くした。土木灌漑・治水につとめ、特に鮫池・久米池の築造や改修に貢献した。
29	仁木徳萬開発の鮫池	所在＝春日町(南春日)最南の地に築造された平地の溜池である。 堤防は全て築き上げて水をためる方式なので、人力と金のかかった池である。
30	菱の池公園	所在＝高松町1211番地28 菱の池の半分を埋め立て、公園として利用している。少年サッカー、消防団演習、その他各種団体の運動会、スポーツ大会、イベントなどに幅広く活用されてきた。古高松地区ふれあい交流イベント(旧高松城まつり)は夏の楽しい行事のひとつである。